

2006年度 第3回 運営委員会議事録

日時：2006年9月9日(土) 9:30～13:00

場所：バーズ教育センター 第1会議室(105教室)

出席者：松林運営委員長、三宅副運営委員長、大平副総務担当運営委員、樋口会計担当運営委員、小久保校長、本岡運営委員、佐崎運営委員、太田運営委員、ホーン運営委員、藤原領事、満留商工会教育部長、糟谷会計監査委員、村野事務長

1. 開会の言葉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・大平副総務担当運営委員
2. 運営委員長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・松林運営委員長
西尾図書委員長のご帰国に伴い、後任の図書委員長として佐崎さんが担当。
3. 報告・確認事項・協議事項

A) 学校の状況報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・小久保校長
在籍者数の報告

2学期から50名の転入生を受け付けたが、特に中学部の生徒が多く転入。6月から26名の人数増で、多少生徒数の増加傾向が見られる。

主任会について

行事：始業式、夏休み作品展、学級懇談会、ブックフェアにつき話し合いを行う。

土曜日職員への資料配付方法：E-mail送信を検討したが従来通り朝、配付とする。

学習支援ボランティア：エモリ 大学生ボランティアの活用。

通知表の一部改訂：小学部、中学部のみ日本の学習指導要領に準拠した評価に改訂。

「はなみずき」で保護者に周知・説明報告をしたい。

HPの変更：シンビオシスさんからHPの更新をしたらどうかとの申し出があった。今後、打合せをし依頼させて頂く。

エモリー大学生ボランティア：9月2日から活動を開始。「はなみずき」で、保護者に活動の趣旨を説明し利用してもらう。3時前の相談は依頼できないかとの問い合わせがあり、利用勝手の方法を今後検討してみたい。服装、個人情報等の守秘義務は打合せが出来ている。

教育講演会の進捗状況：料理研究家栗原はるみさん 講演依頼をエモリー大学の武田先生を窓口として交渉していただいている。具体的には未定で、引き続き交渉をお願いする。

福島孝徳先生 世界的な脳外科医。現在ノースカロライナデューク大学教授。領事館の方を介し講演を依頼した結果、来年度は可能と快諾を頂いている。日時を調整後、高学年対象に講演会を予定。

新コース指導内容確認：新コースは小学部のみ設置されている。以前の基礎クラスでの問題点を考慮し、通級体制に移行し3時間国語のみ勉強。補習校の主旨からも通級体制を継続していく。指導内容は、学年に拘らず児童の実態に合わせた授業を行う。保護者向けに入級時用パンフレットを作成し事前の理解を求めクラスの実態を知って頂く手立てとする。他の補習校の実態も調査したい。

中学部2年の生徒在籍数：新学期から生徒が増え続け、現在32名の生徒数。学校規定のクラス定数は上限29名になっている。2クラスにする編成も考えられるが、担任との話し合いにより、急な再編成は考えず、現状の1クラスで指導をしていただく。常に状況判断を怠らないようにしていく。

借用校との良好な関係作り：教職員、生徒、施設に対し出来る事、している事等、他の補習校の実態も調べてみる。借用校ギブソン先生の紹介でコブ教育委員会関係者との顔合わせが9月12日10に予定されている。運営委員会から松林委員長、本岡学級委員長が参加予定。

その他：今年度の北米地区研修会はシカゴで開催。研修会に参加させていただく。他の補習校に聞いて欲しいこと等あればメールで知らせていただきたい。

不在になっているカウンセラーの候補者に勤務の件を打診中。今後は勤務時間帯、報酬等につき、お互いの合意が取ればカウンセラーとして勤務いただく。結果は運営委員会に報告させていただく。

学校案内道路表示、本校案内表示：学校への道順が分かりにくいいため、道路に表示旗を立てたい。設置にあたり手続きの方法を現地校に相談してみる。

B)学級委員会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・本岡学級委員長

9月2日学級委員会開催

2週間に亘っておこなわれた学級懇談会について、発表と報告を頂いた。懇談会の席上で中学部2年のクラス人数について説明をした。運営委員会としては、現状では2クラスの再編成は考えていない旨を保護者に説明し理解を頂いた。

ボランティアの事前募集について ボランティアの事前募集は来年度も行う。募集はクラスの学級委員に一任していたので、クラスにより対応の仕方が違っていたことがあった。今後は、決定のプロセスを細かく決め、マニュアル化していく。(学級委員会賛成多数)

教材のノートについて 前年度と同じノートを使用すると思い、大量に一時帰国の際に購入してきたが教師により前年度と違うノートを使用する旨を知らされノートが無駄になってしまった。学年で使用するノートは継続して同じ物を使用して欲しい。

C)図書委員会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・佐崎図書委員長

恒例のブックフェアを11月18日開催。会場、価格は昨年同様で、子ども達の購入時間帯が一部変更。授業時間帯との兼ね合いから保護者の購入時間帯も15分遅らせている。本年度はベークセールのみ、生徒会主催で行う。当日は、図書室、移動図書貸し出し、返却も無し。

D)当番作成委員会・クラブ祭りの報告・クラブ活動規約改定・・・・・・・・大平副総務担当運営委員

8月26日、学級、図書担当運営委員と当番作成委員にて会合を持った。当番作成の手順のマニュアル化を目指している。今回、本岡運営委員のご尽力で当番作成マニュアル、当番作成フローが作成できている。入学、退学、変更も多いので変更時のフローチャも作成しておく。出席者で内容を確認し完成を目指す。

クラブ祭りの報告

8月26日好評であった昨年の案を踏襲し開催した。新入部員の募集、各クラブ間の相互理解を深める為開かれたが、昨年度を超える107名の参加者があり、土曜日の放課後楽しんでいた児童生徒が多かった。その後、クラブにより部員増加の報告がきている。飲み水も補助することが出来た。

反省点：事前の予約期間を長く設定する。

開催の時期(8月を9月)を遅らせることなど上がってきたので、次年度に反映していきたい。

飲み水の寄付の手配を早めに行っておく。

クラブ活動規約改定

第1回運営委員会で話し合いが行われたことを基に下記のように改訂。

第2章クラブ活動の運営 第4条その他の項目をクラブの活動報告と改訂。下記の文言を追加

第4条クラブの活動報告：

(1) 人数増減、出席、会計報告、組織活動(新旧)を該当年度1月末に行う。

(2) 該当年度活動実績をもとに、次年度活動に対し、運営委員会で承認しクラブ補助金を支給する。

現行第4条その他の項目を第5条に改訂。

第4章1条新規クラブの承認を新規クラブ及び廃部の承認と改訂。

また、「新規クラブの発足に関しては、運営委員会での承認を必要とするものとする。」を下記の文言に改訂。

また、「新規クラブの発足にあたり、運営委員会にて仮承認をし、一年間の活動状況を監査した後、再度運営委員会にてその承認可否を正式に決定するものとし、又、廃部に関しても運営委員会にて承認を行うものとする。」

以上、2006年9月第2章4条、第5条、第4章第1条改訂、9月施行

「運営委員会承認」

E) ジャパンフェスト進捗状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・満留商工会教育部長

ジャパンフェストを2週間後に控え、バザーの前日準備、当日のお手伝いと合計112名の方々にボランティアのご協力を得ることができた。全児童生徒の入場券配付は16日、保護者ボランティアへの入園券、入場券の配付は23日。入園券は一家庭一枚とする。入園券は原価で購入し、バザーの売上から引かれるため、企業等に入園券、入場券の寄付を募りたい。

運営委員のボランティアの参加、協力をお願いしたい。

バザー品の寄付については、引き続き23日朝まで受付ける。

本年度お神輿に参加する児童生徒へ豆絞りの参加賞が配られる予定。

F) オープンハウス進捗状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ホーン行事担当運営委員

本年度のテーマ：昨年同様「日米教育の違い」

開催日：10月21日 土曜日 9時30分～14時

参加者目標：100名(保護者を含まず)

準備スタッフ：委員20名、ボランティア123名

予算額：1200ドル

受付、展示、駐車場、カメラ、ランチの各係がリーダーを中心に基本スケジュールに基づき、鋭意準備をすすめていただいている。プレゼンテーション、夏休み作品展は昨年度と同様。

変更点：ボランティアの人数を軽減。招待状に昨年写真を掲載。ウェブサイトにオープンハウスの紹介を掲載。

G)危機管理と現状報告・今後の手立て・・・・・・・・・・糟谷会計監査委員

学校の危機管理体制を見直すため、前回の運営委員会で危機管理委員を任命されたが、今後は以下の方法で活動を進めていきたい。

危機管理調査票を作成し、全米の他の補習校に依頼状、アンケート用紙、本校の現状などを送り、協力を依頼、届いた結果を本校と比較・評価してみたい。
教職員からの改善点は既に洗い出しているため、今後は保護者から見た問題点・改善点を話し合う場を設け、危機管理を啓発したい。
危機管理マニュアルの更新及び次年度への引継ぎ資料を作成する。

H) 2007年度 Educators to Japan Program の選出について・・・・・・・・大平副総務担当運営委員

日本人商工会から来年度派遣者用の応募要項が既に児童生徒に配付され現地校担任に手渡されている事と思う。

日本語学校からも来年度派遣者の人選を行いたい。年内に商工会経由でジェットロに参加者の通知を行うことになっている。過去の選考方法としてコブ教育委員会、教場借用校、教場借用事務局関係者の中から運営委員会で承認し派遣を行っていた。今年度は保護者に意義、選考方法がより分かり易い方法を考える。2007年度の派遣は予算上可能なので、次回の運営委員会でさらに具体的な選考方法を検討し、派遣者を選出し、結果を保護者に通知する。

I)出張領事サービスについて・・・・・・・・・・藤原領事

公費の事業計画のため、本省の許可事項で、目処として年間6回と定められている。本来はアトランタ以外の遠方地域を主に計画されるべきものだが、過去の経緯もあるので本校で行うサービスも検討中。日程を調整し、決定次第お知らせする。

以上